

入院診療計画書 「腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術を受けられる

(病名)腹部大動脈瘤 (症状)腹痛など



(説明日)

年 月 日

さんへ」

(ご本人・ご家族)

確認サイン

経過 月日	入院～手術前まで / ~ /	手術前日 /	手術当日 /	手術後1～2日目 /	手術後3～6日目 /	手術7日目～退院 / ~ /
到達目標	血圧のコントロールができ心身落ちついた状態で手術前を過ごせる		術後合併症を起こさない			退院後の日常生活注意点がわかる 抜糸をします。
治療 処置	麻酔科を受診します。	絶食になるため持続点滴を開始します。 中心静脈カテーテルを挿入します。 15時ごろ洗腸を行います。	麻酔科の指示で必要な薬を飲みます。 	手術後は首のところから点滴が入ります。状態に応じ必要な薬の投与や輸血を行います。	腹部の状態をみて飲水が開始になります。	
手術	□無・□有 (術式:)					
検査	血液検査・尿検査・血液ガス・レントゲン・心電図・心エコー・造影CT	必要時追加検査を行います。		採血・レントゲン	採血・レントゲン・CTなど適宜検査を行います。	
薬剤 服薬指導	普段内服されている薬を確認します。中止になる薬もあります。 	寝る前に麻酔科医から指示された薬を飲みます。	朝6時に必要な薬を飲みます。	点滴管理を行います。抗生剤を使用します。	同左	食事が入るようになったら点滴は中止します。 
全身管理 症状	血圧・脈拍・体温を測定します。胸やお腹・背中 of 痛みを確認します。排便調整を行います。		気分が悪い場合や痛みがある時はすぐお知らせください。	手術後はICU(集中治療室)へ入ります。全身状態の管理・観察を行います。	痛みが強い時は鎮痛剤が使用できます。状態が落ち着いたら一般病棟へ移ります。	血圧・脈拍・体温を測定します。
食事 食事指導	特別な栄養管理の必要性 □有 □無 □常食 □治療食() お身体 of 状況に応じて栄養状態を良くするための支援を行います。	手術前日絶食です。プリン・ゼリーのみ食べることが出来ます。	朝6時に薬を飲んだ後は絶飲水です。	絶飲食です	腹部の状態をみて食事を開始します	手術前と同じ食事になります。 
安静度	*病状によって活動制限があります。 □制限なし □トイレ歩行まで	同左 	同左 	ベッド上安静です 	ベッドアップで座ることができます。端座位→起立→歩行へとリハビリを始めます。術後1日目に尿の管を抜きます。	制限はありません。
清潔	*病状によって制限があります。 □シャワー浴ができます □看護師が体を拭きます	手術部位の毛を剃ります。点滴を開始する前にシャワー浴または体を拭きます。	朝から歯磨きをしてください。手術衣に着替えます。		抜糸までは看護師が体を拭きます。 	抜糸後はシャワー浴ができます。
患者・家族 への説明	医師より手術について説明があります。入院治療計画書について説明します。検査によっては入院前に行なう場合があります。治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください。	手術前までに手術同意書、中心静脈カテーテル挿入に関する同意書、輸血同意書を提出してください。ICU必要物品を準備してください。	手術中、ご家族の方はデイルームか待合所でお待ちください。	医師より手術後の説明があります。説明後はICU前の待合室でお待ちください。面会ができます。	何かわからないことがあればいつでもお尋ねください。	退院までに医師より説明があります。

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあれば、お気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医

印 担当看護師署名

担当者署名